

巻頭言

2023年新春の御挨拶

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 上谷 宏二



2023年・卯年の年頭にあって、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。併せて、皆様方には平素より当法人に対し多大なる御高配を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

日本建築総合試験所(GBRC)は1964年の設立以来、建築業界の発展と国民生活の安全安心の基盤を支えてまいりました。実は、GBRCの設立は、1970年に大阪・千里で開催された日本万国博覧会EXPO'70と大変深い関係があります。当時は高度成長期の真ただ中にありましたが、今と比較すれば生活の質はまだまだ貧しいレベルでした。しかし、国民の一人ひとりがより良い生活の獲得を目指し、夢を追って坂道を登って行くような活力がありました。

EXPO'70から55年を隔てた2025年には、大阪・夢洲でEXPO2025が開催されます。EXPO'70のテーマは「人類の進歩と調和」であったのに対し、EXPO2025のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)」です。55年の間に社会はあらゆる面で絶えず変化して参りましたが、近年における変化の速度は極めて急激であると感じます。また、もっと長い歴史的な時間軸で見ても極めて急激であります。技術の進歩は我々の生活に便利さや豊かさをもたらしましたが、その一方で、環境や心の豊かさに与えてきた負の問題を置き去りにしてきたことも否めません。これからは人類の賢明さが試されているように感じます。

社会の安全と安心、地球環境の保全と持続性などに関連して、GBRCが貢献すべき課題は数多くあります。また課題の多くは、分野間の連携や総合による解決が求められます。GBRCは、材料、構造、環境などの試験・研究、並びに、製品認証、建築確認・評定、構造判定といった幅広い事業を展開してきました。これらの実績をベースとして、今後さらに情報技術、化学をも視野に入れた学術・技術の研鑽と業務の拡張を目指して参りたいと考えております。

「温故知新」すなわち「ふるきをたずねて、新しきを知る。」を胸に刻んで、皆様方のお役に立てますよう、より一層の努力を重ねてまいる所存ですので、本年も一層のご支援を重ねてお願い申し上げます。